

# 今を未来に

## 今月（11月）は『いじめ』防止強化月間です

『いじめ』は子どもの教育を受ける権利を侵害し、かけがいのない命までも危険にさらす決して許すことのできない行為です。そして、『いじめを絶対に許さない』という思いは、私たち教職員や児童、保護者、そして地域の共通な願いです。

『いじめ』は、いじめを受けた児童はもちろん、いじめをした児童をも不幸にさせてしまいます。そんな不幸な児童をうまないために、保々小学校では、『いじめ防止対策推進法』及び『三重県いじめ防止基本方針』等を踏まえ『保々小学校いじめ防止基本方針』を策定し、この基本方針に基づいて取り組みを進めています。

学校の取り組みとしては、以下のようなことを行っています。

- 学校いじめ防止基本方針をもとにした、取り組みの振り返り。
- 学校全体での体制づくり
  - ・実態把握 ～いじめの積極的認知、早期発見、早期対応～
  - ・方針の明確化 ～解決に向けた適切かつ誠実な対応～
  - ・取り組み ～チームでの適切な対応と取り組みの成果と課題の検証～
- 仲間とともに問題を解決しようとする子どもたちの自発的、自主的な学級づくり
- 仲間づくりや自己有用感を高めることを目的とした授業、校内活動の推進
- 委員会活動を中心とした啓発活動の充実
- スマートフォン等の適切な使用の指導
- いじめの予防、早期発見のために日常から家庭との連携 等

しかし、いじめを根絶するには、学校での取り組みだけでは不十分です。いじめから児童を守るためには、学校、家庭（保護者）、地域が連携し、社会全体で取り組む必要があります。

今月（11月）は、『いじめ防止強化月間』でもあります。ご家庭や地域において、気になることがありましたら、学校までご相談ください。

最近のいじめは、教職員の目の届かないところで起こるケースが多く、発覚した時には事態が悪化している場合が多いのが特徴です。そのためにも、一人でも多くの大人が目を光らせ、『いじめ』の早期発見、早期解決に向けて学校と連携を深めながら『いじめ防止』の取り組みを進めていきたいと考えています。

### 【知っていますか？ ピンクシャツ運動】

ピンクシャツ運動とは、2007年にカナダで誕生した『いじめ反対運動』です。カナダで中学3年生の男子生徒がピンクのポロシャツを着て登校し、いじめられました。それを知った高校3年生男子2人がその日の内にピンクのシャツなどを大量に購入し、メールや掲示板で友人、知人などに翌日に着用することを呼びかけました。翌朝、2人はシャツなどを呼びかけた人に配って着てもらいました。この日に呼びかけ以上の学生がピンクの服で登校し、学校がピンクに染まりいじめがなくなりました。以降、毎年2月最終水曜日が学校や職場にピンクのものを身につけて行くピンクシャツデーとしてカナダ全土に定着し、アメリカ、イギリスなど世界各国へひろまりました。この運動は、『いじめ反対』のメッセージとともに、いじめの問題を個人や、当事者間だけの問題ではなく、社会全体の問題と捉え、いじめの定義や、傍観者になることなどを含め、いろいろないじめの問題について考える機会となっています。